

令和5年度 学校評価書(自己評価・学校関係者評価)

教育目標 個性の確立 自立と共生 社会への貢献

山形県立高島高等学校

めざす学校像
 1 基礎・基本を大切にし、学力向上に向けて教育活動の充実に努める学校
 2 人とかかわりの中で、ことば・心・行動を大切に育てる学校
 3 総合学科の特色である多様な科目の評価と改善に努め、進化する学校
 4 保護者・地域との連携を密にし、地域に貢献できる学校

達成度
 A: 達成
 B: 概ね達成
 C: やや不十分
 D: 不十分

めざす生徒像 地域を愛し、自他の未来を切り拓く生徒

自 己 評 価		達成度	達成状況(○)と課題(△)	学校関係者評価 (意見・要望・評価等)	総括 (改善点)
重点目標 (評価項目)	具体的な取組目標や主な方策				
1	学習指導の充実と学力向上	B	○各教科担任による授業では、ねらいを明確にし、生徒が理解できるよう教材、板書等に工夫を重ねたため、授業評価で高い評価を得た。 ○協働的な学びを進めて行く中で、ICTを活用した授業を各教科とも積極的に実施した。 △観点別評価に基づき、個々の生徒の学習改善が図れる指導体制の構築が課題である。	・学習に関し、肯定的意見の割合が低い。生徒の進路意識を高め、目標の設定と学習意欲の喚起に努めてほしい。 ・学習に関する学校での取り組みを保護者等にも十分に周知してほしい。	○ 学習指導 ・観点別評価に関し、教員一人一人が実践に基づく研究を深め、生徒の学習改善や教員の授業改善にあたる。
2	自己実現に向けた明確な進路意識の育成と深化	B	○生徒の進路目標の達成に向け、小論文、面接対策と全教職員が一丸となって指導することができた。 ○1・2年次生のインターンシップ・農業・ボランティア体験が、生徒の心の成長につながった。 △生徒数減により、教員数が削減される中、より効果的な進路指導にしていく必要がある。	・進路選択を目的とした進路講演会は、内容が充実している。今後も継続してほしい。 ・進路が多様な本校においては、進路指導室に生徒が相談できる態勢をさらに充実させてほしい。	○ 進路指導 ・総合的な探究の時間での課題研究に関する内容を充実化させる。
3	健やかな体と思いやりの心、豊かな人間性の育成	B	○「いのちの教育」は多方面の専門職による講演等の協力のもと順調に実施できた。 ○合唱コンクール、クラスマッチや学園祭等の行事を生徒が主体となり、成功させた。 △定期健診後の未受診者の受診率の向上に向け、保護者と連携した取り組みが必要である。	・コロナ禍において、個を大切にしたい指導を厚く行ったことに対し、保護者の評価が得られている。 ・相談活動、生徒指導について、信頼関係を大切にしている。	○ 生徒指導 ・ボランティア体験や地域活動等、生徒が活躍できる場及び生徒間の親和関係の構築できる環境を模索し、生徒主体で取り組ませたい。
4	総合学科としての教育内容の充実と総合力の育成	B	○高島ゼミの活動に代表される探究活動や高島町海外派遣研修事業の再開により、地域の中・高生に向けて、本校総合学科の魅力を広げ発信することができた。 △課題研究では、さらなる内容の充実に向けて、テーマ設定から具体的な研究まできめ細やかな指導体制の構築が課題である。	・高島ゼミや観光振興等を中心とした各教科での地道な取り組みが、地域に広くPRできたことは成果として大きい。生徒一人一人の意欲や個性を損なうことなく、つなげていくことに努めていただきたい。	○ その他 ・保護者と地域社会との連携をより一層深めながら、生徒が安心して学校生活を送れるような環境づくりに邁進していきたい。
5	保護者や地域社会との連携と学校情報の適切な発信	B	○保護者や地域社会との連携では、新型コロナウイルスの5類移行後、ボランティア活動や学園祭等で活動の機会が多く生まれ成果として残った。 ○公式インスタグラムが開設されたことにより、本校の良さが広くPRされた。 △生徒数減に伴う役員数の減少に向けて、PTA活動を効果的にスリム化していくことが課題である。	・一斉メール配信や本校ホームページをとおり、今後も積極的に情報を発信していくことで、生徒の活躍や総合学科の魅力・内容などを広く伝えてほしい。	